家を、暮らしを整えなおす

HERS

1 [ハーズ]

JANUARY 2020

インテリア特集

〝整えなおす〟家

冬のスニーカースタイル

心地よく年を重ねるための
ベストコスメ

リノベーションで すべてのものを収納でき すっきり整った 暮らしが手に入りました

Iさん邸

食器や道具類が美しく収まり、キッチンに立つのが楽しみに

Iさんが暮らすのは湘南に立つマンション。晴れていれば富士山が美しく見える、窓の多い、風のよく通る家です。もとはお父様が所有していた物件に、ご主人の仕事の都合で引っ越してきたのが10年ほど前。4LDKの細かく区切られた間取りで、収納も足りず、すぐにリノベーションを考え出したそうです。

「迷わず大手メーカーに相談に行きました。プランも出してもらったのですが、施工事例を見てこれはちょっと違うなと。改めて建築家を探していたところ、出合ったのがKONARA HOUSEさん。事務所兼ご自宅と施工事例を見て、『この人たちにお任せしよう!』と決断し、延び延びになっていたリノベーションがようやくスタートしました」

今まで収納しきれなかった手持ちのものがすべて収まること、寝室は別々に、洗面所でメークをしたい、など最低限のことを伝え、デザインには一切口を出さないことに。Iさんが購入を決めていたメゾン・ドゥ・ファミーユのソファとシャンデリアに合わせ、シックなベージュトーンで仕上がったLDKを見た時には、思わず「うわっ」と歓声が上がったと言います。I邸で際立つのは収納の多さ。好きで集めたたくさんの食器類や茶器、お菓子作りの道具など、キッチン周りのものをはじめ、所有するものがきちんと収まるよう、物量を測り、収納場所を予め計画。その甲斐あって、すべてのものがすっきり収まる家となりました。

「戻す場所ができ、散らかるストレスから解放されました。キッチンに立つのが楽しくて、好きなお菓子作りも少しずつ再開するつもりです」

開けるのが楽しくなる整然とした引出し

カウンター下の引出しには、カトラリー類を収納。開けるたびに心ときめきそうな、細部まで美しい仕上がりで、中の仕切りもKONARA HOUSE(https://www.konarahouse.jp)が製作。カウンタートップやIHコンロの壁面は、ムルシアブラウンという大理石。木部はナラ材。

無駄なスペースがない まさに完璧な収納

この家に越してきて、趣味のお菓子作りも少しずつ再開しているというIさん。そのためにリクエストした、ミーレのオーブンレンジの両サイドには、操作マニュアルやオーブン用のトレイを収納できるスペースも。下の引出しには、長くコレクションをするロイヤルコペンハーゲンの器をまとめて収納。

キッチンは、壁側にガスコンロを設置し、冷蔵庫は置き型に加えアイランドカウンター下にもビルトインタイプを設置したいとだけ希望したそう。ベージュ色、オーク材、大理石で美しく仕上がった家具のようなキッチンに。大量の食器や道具類が収まるよう、足元にまで収納場所が設けられています。食材用パントリーは廊下に。

DATA

家族構成	夫婦+息子1人
専有面積	93.61㎡

LDKの内装はソファと照明を軸にベージュでまとめて

リノベーション前に購入を決めた、メゾン・ドゥ・ファミーユの革張りのソファとアームチェア、シャンデリアをイメージソースにして、LDKはベージュトーンでまとめることに。壁も天井もベージュに塗装し、カーテンもベージュ系の麻で統一。シックでしっとりと落ち着いた空間に仕上がりました。コーヒーテーブルはローラアシュレイのもの。

Iさん邸

機能性はもちろん〝しまう、出す〟が楽しくなる暮らしの〝質〟が上がる収納に

配管の都合でキッチンの床レベルをリビングより一段上げることに。ハイスツールはKONARA HOUSEのオリジナル。タイル張りの床には床暖房を設置。

家族お気に入りの窓辺のコージーなダイニング

窓辺に作られたダイニングは、居心地のいいダイナーのよう。ベンチもテーブルもKONARA HOUSEがこのスペースに合わせて作った造作家具。ベンチの下も収納になっています。窓には風を通し、太陽光を調整できるノーマンジャパンのウッドシャッターを設置。

夜にはリビングがIさんの寝室へと早替わり

「家族3人それぞれ、別々に寝室を」とリクエスト。ご主人と息子さんには個室があるので、個室のないIさんのために、リビングのTVの横に折りたたみ式のベッドを設置。ダブルベッドで寝心地もとてもいいとか。閉めてしまえば、他の収納扉とまったく変わりません。

リビングにはお酒やお茶のためのホームバーも設置

リビングの収納扉を開けると照明が点灯し、中はホームバー。上部にはグラス類やウォーターサーバーなどが整然と並びます。下にはワインセラーと茶器がぎっしり詰まった引出しが。抹茶、中国茶、紅茶とお茶好きなIさんが集めた道具類をまとめて収納。

〝白〟と〝鏡〟を効果的に使って広がりを演出します

鏡の効果で広く、美しいホテルライクなトイレ

壁の片側半分を鏡にして、実際の広さ以上の広がりを感じる効果を加えたトイレ。壁にはモールディングが施され、まるでホテルのトイレのような美しい仕上がり。壁付けの照明はアメリカのVisual Comfort社のもの。

大容量の収納のおかげですっきりとした玄関をキープ

玄関を入ると右側に下駄箱があり、左にはベンチシートが。ベンチシートの周りにも余すところなく収納を確保したおかげで、すっきりとした状態を保てます。下駄箱の扉は鏡張りにして姿見に。正面の壁に飾った美しい色のアートは息子さんの作品。

洗面台の横には自然光でメークできるドレッサーも設置

白を基調とした爽やかな洗面&バスルームには自然光が入り、マンションとは思えない開放感。正面は奥様のドレッサーで、引出しには化粧品が。朝、ここに座り、浴室のTVをつけてメークをしたり、夜、TVを観ながらゆったりお風呂に入るのが、お気に入りの時間だとか。

ブルーを基調にした子供部屋。将来はIさんの部屋に

高校生の息子さんの部屋。息子さんが独立した後は、Iさんの部屋にする予定で、照明や壁の色、カーテンを選んだとか。もともと使っていた勉強机と本棚は白く塗装して使用。2面に窓があり、見晴らしも風通しもよく、気持ちのいい部屋です。

 撮影／金子義由紀（ナカサアンドパートナーズ） 取材・文／鈴木奈代